

令和 3 年度事業実施状況について（補正予算関係）

1 活力にあふれる圏域づくり（産業振興）

02 事業費

事業項目	02 圏域内企業の海外展開支援事業																																												
事業名	海外商談会参加等支援事業																																												
事業概要	現計予算額		850,000 円																																										
	補正予算額		△850,000 円																																										
	財源内訳	国・県支出金	0 円																																										
		補助金	0 円																																										
		負担金	一般	0 円																																									
特定	0 円																																												
補正後予算額		0 円																																											
<p>1. 事業内容</p> <p>圏域内企業における外国人観光客の誘致及び自社製品・技術等の海外への販路開拓に向けた海外商談会参加等の自主的な取組を支援するために補助金を交付する事業であったが、新型コロナウイルス感染症のまん延等がある中、<u>補助金の交付申請は無い状況となっている。</u></p> <p>また、デジタル活用による海外販路開拓支援として、中国向け越境 EC（電子商取引）サービスの圏域事業者向け説明会を開催する。</p> <p>(1) 海外商談会参加等支援補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ○実施期間 令和 3 年 5 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日 ○募集期間 令和 3 年 5 月 1 日～令和 4 年 1 月 31 日 ○補助対象者 圏域 5 市に本社または主たる事業所を有する中小企業等または複数の企業により構成されるグループ・団体 ○補助金額 原則、補助対象経費の 1/2 補助上限額 10 万円 ただし、以下の場合、①～②に応じた補助率、補助上限額。 ①ロシア、韓国、中国、インド及び台湾での商談会等に参加する場合 補助対象経費の 2/3 補助上限額 15 万円 ②前年度以前（H24～）に補助金の交付を受けている場合 補助対象経費の 1/4 補助上限額 10 万円 ○申請回数限度 同一の申請者は、同一年度に 1 回かつ通算 3 回を申請限度とする。 ただし、ロシア、韓国、中国、インド及び台湾での商談会等参加の場合は、通算 4 回目の申請を認める。 <p>[補助金交付実績（参考）]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助事業者数</td> <td>30</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>5</td> <td>13</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>補助金額（千円）</td> <td>3,455</td> <td>3,285</td> <td>2,898</td> <td>663</td> <td>1,818</td> <td>2,834</td> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>補助事業者数</td> <td>5</td> <td>16</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>補助金額（千円）</td> <td>308</td> <td>1,364</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	補助事業者数	30	18	18	5	13	15	補助金額（千円）	3,455	3,285	2,898	663	1,818	2,834	年度	H30	R1	R2	R3			補助事業者数	5	16	0	0			補助金額（千円）	308	1,364	0	0		
年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29																																							
補助事業者数	30	18	18	5	13	15																																							
補助金額（千円）	3,455	3,285	2,898	663	1,818	2,834																																							
年度	H30	R1	R2	R3																																									
補助事業者数	5	16	0	0																																									
補助金額（千円）	308	1,364	0	0																																									

(2) 中国向け越境 EC サービス説明会の開催

株ACD（ANA 関連会社）が展開する中国越境 EC サービス「全日空^{ヘイタオ}海淘」の事業者向け説明会を開催し、圏域内企業の中国への販路開拓支援及びインバウンド対策を図る。

※山陰いいものマルシェ実行委員会主催で開催予定

2. 経費内訳

- | | |
|-------------------------|-----|
| ・ 海外商談会参加等支援補助金 | 0 円 |
| ・ 中国向け越境 EC サービス説明会開催経費 | 0 円 |

3. 参考（補正前 経費内訳）

- | | |
|-------------------------|-----------|
| ・ 海外商談会参加等支援補助金 | 750,000 円 |
| ・ 中国向け越境 EC サービス説明会開催経費 | 100,000 円 |

事業項目	02 圏域内企業の海外展開支援事業		
事業名	インドとの経済交流事業		
事業概要	現計予算額	14,316,000 円	
インド・ケララ州との経済交流拡大を目指す覚書(MOU)の締結に基づき、企業進出やビジネスマッチング等の実現のため、密接な協力体制の構築支援、情報交換、視察交流等を行う。	補正予算額	△8,616,000 円	
	財源内訳	国・県支出金	0 円
		補助金	0 円
		負担金	一般
	特定		0 円
補正後予算額	5,700,000 円		

1. 事業内容

平成27年にインド・ケララ州政府と締結した経済交流を拡大する覚書の具体化を図るため、圏域とインド・ケララ州を繋ぐグローバルな視野を持つIT等人材の圏域内企業への就職、日印企業連携推進を目的に、圏域の産業・商工団体、島根大学、自治体等で構成する「中海・宍道湖・大山圏域インド人材受入・企業連携事業実行委員会」(事務局：松江市まつえ産業支援センター)へ業務委託し、ケララ州の学生等に対する日本語教育支援、圏域企業説明会、ビジネスフォーラム等を行った。

当初計画していたケララ州大学生6名のインターンシップ、圏域内企業のケララ州での商談会出展については、新型コロナウイルス感染症のまん延により中止となった。

なお、ラジャギリ工業技術大学から島根大学への短期留学生4名のインターンシップについては、11月からの入国制限緩和に伴う島根大学の留学生受入審査申請結果状況等に依りて実施予定。

(1) インド人材向けオンライン日本語教育の実施

インターンシップ参加候補者向けオンライン日本語教育の実施

(2) 第2回ケララ・山陰 オンラインビジネスフォーラムの開催

圏域とケララ州の更なる経済連携及び両国企業のビジネス機会創出を目的に、昨年度開催に続き、第2回オンラインビジネスフォーラムを開催した。今回はケララ州企業が自社製品や事業を紹介し、日本側とのビジネス連携の可能性を探った。

○開催日 : 11月16日(火)

○参加者数 : 両国の行政、企業関係者約100人

○主催・共催 : 圏域市長会、ケララ州、中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会
印日商工会ケララ(INJACK)、山陰インド協会、
ジェトロ(松江・鳥取・チェンナイ)



(3) インターンシップ圏域受入企業オンライン説明会及び個別説明会

対象者 : 希望する圏域内企業、インターンシップ参加候補者
開催時期 : 1~2月

2. 経費内訳

- インド人材受入・企業連携推進事業実行委員会への委託費 5,700,000 円
 - ・インターンシップ開催 2,200,000 円
 - ・日本語教育支援 3,000,000 円
 - ・事務費 500,000 円
- ジャパンメラ（ケララ州での商談会）参加経費 0 円

3. 参考（補正前 経費内訳）

- インド人材受入・企業連携推進事業実行委員会への委託費 9,646,000 円
 - ・インターンシップ開催 6,146,000 円
 - ・日本語教育支援 3,000,000 円
 - ・事務費 500,000 円
- ジャパンメラ（ケララ州での商談会）参加経費 4,670,000 円

事業項目	02 圏域内企業の海外展開支援事業			
事業名	台湾との経済交流事業			
事業概要	現計予算額		3,188,000 円	
	補正予算額		△2,938,000 円	
	財源内訳	国・県支出金	0 円	
		補助金	0 円	
		負担金	一般	250,000 円
			特定	0 円
補正後予算額		250,000 円		

1. 事業内容

圏域内企業の台湾への海外展開支援として、「T J コネクトフェア 2021」（日台総合産業マッチング大会）において、圏域内企業と台湾企業とのビジネスマッチング相談会をオンラインで開催した。

当初計画していた圏域と台北市との経済等交流促進を目的とした覚書締結等については、新型コロナウイルス感染症のまん延等により、前年に引き続き延期となった。

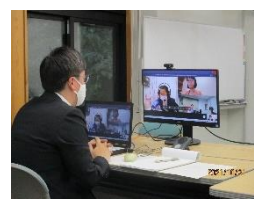
「T J コネクトフェア 2021」（日台総合産業マッチング大会）

圏域内企業と台湾企業とのビジネスマッチング相談会（オンライン商談会）

○開催日：10月21日（木）

○相談会場：テクノアークしまね（圏域内企業）、T J コネクトフェア会場（台湾企業）

○圏域内参加企業数：4社（事前にマッチングした台湾企業各1社と各相談実施）



2. 経費内訳

T J コネクトフェアビジネスマッチング相談会開催経費 250,000 円

3. 参考（補正前 経費内訳）

- ・圏域内企業等向け台湾セミナー開催経費 300,000 円
- ・現地通訳・台北市政府等とのコーディネート業務 550,000 円
- ・T J コネクトフェア、フード台北等への参加企業支援 750,000 円
- ・覚書を基にした交流事業事前協議（職員2名 2泊3日） 588,000 円
- ・交流促進覚書締結来圏対応経費 1,000,000 円

3 住みたくなる圏域づくり（環境の充実）

02 事業費

事業項目	01 自然環境の保全・活用事業			
事業名	自然環境の豊かさ・保全に係る普及啓発			
事業概要	現計予算額		1,800,000 円	
	補正予算額		△1,480,000 円	
	財源内訳	国・県支出金	0 円	
		補助金	0 円	
		負担金	一般	320,000 円
			特定	0 円
補正後予算額		320,000 円		

1. 事業内容

ラムサール条約登録湿地である中海・宍道湖をはじめとする圏域の豊かな自然や環境について、圏域の子どもたちへ体験を通して学習できる機会提供等を行い、圏域の自然環境の豊かさや環境保全に関する普及啓発を行った。

(1) 子ども探検スクールの開催

〔夏季企画（再生可能エネルギー学習、環境保全学習 全4コース）〕

各コースで多数の参加申込があったが、開催直前の新型コロナウイルス感染症のまん延により開催中止となった。

①7月30日（金）境港会場コース 会場：三光(株)潮見工場

「え～！ごみから発電？おいしい魚を養殖？ごみ処理工場のリサイクルエネルギーを体験しよう！」

申込受付人数 77 人（定員 20 人）

②8月1日（日）米子会場コース 会場：米子市クリーンセンター、ローカルエナジー(株)

「地球に優しい電気、クリーンエネルギーを体験しよう！」

申込受付人数 29 人（定員 20 人）

③8月8日（日）安来会場コース 会場：伯太発電所、安来市役所伯太庁舎

「びっくり！水が電気に？？発電の仕組み体験！水力発電所へ潜入だー！」

申込受付人数 127 人（定員 20 人）

④8月21日（土）松江会場コース 会場：マリングートしまね、大芦海岸

「海で起きているプラスチックごみの大事件！」

海の生き物になったつもりで模擬体験してみよう！」

申込受付人数 82 人（定員 20 人）



〔冬季企画（宍道湖と中海の水鳥観察会 全3コース）〕

- ①12月18日（土）午前 出雲会場（宍道湖エリア）コース
会場：宍道湖グリーンパーク
14人（6家族）参加 ※申込受付人数38人/定員20人、参加決定20人
- ②12月18日（土）午後 出雲会場（宍道湖エリア）コース
会場：宍道湖グリーンパーク
16人（8家族）参加 ※申込受付人数44人/定員20人、参加決定20人
- ③12月19日（日）午前 米子会場（中海エリア）コース
会場：米子水鳥公園ネイチャーセンター、米子港
10人（4家族）参加 ※申込受付人数32人/定員20人、参加決定20人



(2) 自然環境の豊かさや保全等に係る情報発信（各関係団体と連携した取組）

第6回中海バイク&ラン（主催：島根県・鳥取県、共催：圏域市長会）

開催期間：10月30日（土）～11月14日（日）

参加者数：85人（参加エントリー者数：124人/定員150人）



2. 経費内訳

子ども探検スクール開催経費 320,000円

3. 参考（補正前 経費内訳）

- ・子ども探検スクール開催経費 1,650,000円
- ・自然環境の豊かさや保全等に係る情報発信 150,000円

4 とともに歩む圏域づくり（連携と協働）

02 事業費

事業項目	02 圏域内の連携・交流推進			
事業名	圏域内の連携・交流推進			
事業概要			現計予算額	7,110,000 円
圏域内の行政間や民間団体間、行政と民間団体等の更なる連携と交流を図る。			補正予算額	△4,066,000 円
	財源内訳	国・県支出金		0 円
		補助金		0 円
		負担金	一般	
	特定			2,450,000 円
		補正後予算額	3,044,000 円	
<p>1. 事業内容</p> <p>圏域で一体となって推進すべき事業の精査、検討を行い、各市、各団体間での連携・交流推進を図るとともに、特定の課題に対して各市間及び各団体との意見交換の場を設ける等、連携を促進するための仕掛けづくりを行った。</p> <p>(1) 中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会との連携推進 〔10/11 合同勉強会〕 講師：東京大学地域未来社会連携研究機構 機構長 松原宏 氏 演題：「スマートかつ強靱な地域経済社会と中海・宍道湖・大山圏域の課題」</p> <p>(2) 圏域内インフラ（中海架橋、米子道4車線化、境港出雲道路、境港米子道路、境港整備、新幹線整備など）の整備促進に関する要望活動等、圏域一体で取り組む事業の推進・強化</p> <p>○圏域内連携事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「中国横断新幹線（伯備新幹線）整備推進会議」令和3年度役員会開催（5/19） ・中国横断新幹線（伯備新幹線）整備に係る国土交通省に対する要望活動（6月に要望書を郵送） ・松江駅、出雲駅、米子駅、安来駅、境港駅の周辺施設等に新幹線PR看板を設置。 ・境港整備に係る国交省、鳥取県・島根県選出国會議員に対する要望活動（9月に要望書を郵送） ・中国横断新幹線（伯備新幹線）整備推進会議による国土交通省に対する要望活動（1/12） ・中国横断自動車道岡山米子線（蒜山IC～境港間）整備促進にかかる国土交通省に対する要望活動をオンラインで開催予定（2/19） <p>○全国街道交流会議第13回全国大会山陰大会 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和4年度に延期となった。</p>				

2. 経費内訳

・意見交換会、合同勉強会の開催経費	240,000 円
・圏域内連携事業推進経費（要望活動旅費等）	354,000 円
・中国横断新幹線（伯備新幹線）整備推進会議負担金	2,450,000 円
・全国街道交流会議第 13 回全国大会 プレ大会開催負担金	0 円
計	3,044,000 円

3. 参考（補正前 経費内訳）

・意見交換会、合同勉強会の開催経費	240,000 円
・圏域内連携事業推進経費（要望活動旅費等）	1,120,000 円
・中国横断新幹線（伯備新幹線）整備推進会議負担金	2,450,000 円
・全国街道交流会議第 13 回全国大会実行委員会負担金	3,300,000 円
計	7,110,000 円

事業項目	02 圏域内の連携と協働			
事業名	文化・スポーツ交流促進事業			
事業概要	現計予算額		3,500,000 円	
圏域内の歴史資源、伝統芸能、スポーツ、芸術など、相互交流を推進することにより、魅力ある圏域を知り、心豊かな生活環境を創出する。	補正予算額		△2,600,000 円	
	財源内訳	国・県支出金	0 円	
		補助金	0 円	
		負担金	一般	900,000 円
			特定	0 円
補正後予算額		900,000 円		
1. 事業内容				
圏域内の文化・スポーツ交流促進事業の実施、支援等を実施する。				
(1) スポーツを通じた圏域交流イベントの開催				
小学生を対象に、学校区や自治体の枠を越えた若い世代からの交流促進を目的とした圏域のプロスポーツチーム等とのイベント「～トップアスリートとあそぼう～第3回キッズふれあいスポーツフェスティバル」を開催予定。				
<p>日 時 2月11日(金・祝) 10:00～12:00</p> <p>会 場 松江市総合体育館(サブアリーナ)</p> <p>参加チーム ガイナーレ鳥取、ディオッサ出雲、島根スサノオマジック</p> <p>参加者等 定員100人</p>				
(2) 文化・スポーツ等の圏域交流イベントへの支援				
圏域住民の交流促進等を目的とする主体的な活動を支援する「文化・スポーツ交流促進事業補助金」を交付する計画であったが、 <u>新型コロナウイルス感染症が拡大する中、補助金の交付申請は現時点では無し(※1件検討中)。</u>				
(3) イベント交流事業の開催				
各市で開催されるイベントにおける伝統芸能の披露など交流事業の実施する計画であったが、 <u>新型コロナウイルス感染症が拡大する中、支援対象となるイベントが開催されなかった。</u>				
2. 経費内訳				
・スポーツを通じた圏域交流イベントの開催		700,000 円		
・文化・スポーツ等の圏域交流イベントへの支援		200,000 円		
・イベント交流事業の開催		0 円		

3. 参考（補正前 経費内訳）

・スポーツを通じた圏域交流イベントの開催	1,000,000 円
・文化・スポーツ等の圏域交流イベントへの支援	1,000,000 円
・イベント交流事業の開催	1,500,000 円
計	3,500,000 円

事業項目	02 圏域内の連携と協働			
事業名	中海・宍道湖レガッタ開催支援事業			
事業概要	現計予算額		200,000 円	
中海・宍道湖の自然環境の保全と賢明利用を推進するため、中海・宍道湖レガッタの開催を支援する。	補正予算額		△200,000 円	
	財源内訳	国・県支出金	0 円	
		補助金	0 円	
		負担金	特定	0 円
			一般	0 円
補正後予算額		0 円		
<p>1. 事業内容</p> <p>中海・宍道湖レガッタ実行委員会に補助金を交付し、大会の円滑な実施を支援するとともに自然環境の保全・活用、エコツーリズムといった観光振興及び圏域内外の交流人口の拡大を図る事業であったが、<u>新型コロナウイルス感染症の拡大により、中海・宍道湖レガッタは開催中止となった。</u></p> <p>2. 経費内訳</p> <p>中海・宍道湖レガッタ開催支援補助金 0 円</p> <p>3. 参考（補正前 経費内訳）</p> <p>中海・宍道湖レガッタ開催支援補助金 200,000 円</p>				

事業項目	02 圏域内の連携・交流推進		
事業名	移住・定住等促進事業		
事業概要	現計予算額	2,930,000 円	
圏域人口60万人の維持に向けた移住・定住等の促進を図る。	補正予算額	△900,000 円	
	財源内訳	国・県支出金	円
		補助金	円
		負担金	一般
	特定		750,000 円
補正後予算額	2,030,000 円		

1. 事業内容

(1) 婚活事業による移住・定住の促進に向けた取組

圏域内に居住、通勤通学または定住を考える独身男女を対象に、結婚相手の出会う機会を創出する。未婚化、晩婚化の改善をはかり、圏域における移住・定住の促進につなげる。今回は、話題性を高めるために、eスポーツを活用したイベントを開催予定。

- ・イベント名 「初心者大歓迎!! ふよふよ e スポーツ婚活 ～恋の連鎖よ起きろ～」
- ・日時 2月6日(日) 13時30分～16時30分
- ・場所 境港市 SANKO 夢みなとタワー 4階企画展示室
- ・参加者 男女20名ずつ、合計40名(定員を超えた場合は抽選)

(2) 首都圏大学との圏域キャンパス事業

東京大学が実施するフィールドスタディ型政策協働プララム及び体験活動プログラムに参加した。当初は学生の夏休み期間を利用し4泊5日程度のフィールドワークの予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、オンライン講座と1泊2日のフィールドワークを実施した。

○フィールドスタディ型政策協働プログラム

【オンライン講座】

日時：9月28日(火) 14:30～16:00

講師：中海・宍道湖・大山圏域観光局 矢野理事長

テーマ：うんぱく3城連携誘客について～地域連携による滞在型ツーリズムを

デザイン～

日時：9月29日(水) 10:00～11:30

講師：①米子市文化振興課 課長補佐 濱野浩美

②(一社)米子観光まちづくり公社 理事長 川越博行

テーマ：①「国史跡米子城跡 守り伝えるために

－発掘調査成果と今後の整備について－

②「城下町米子観光の現状と課題 ～観光ガイド事業の現場から～」

日 時：9月30日（木）10：00～11：30 ①松江市歴史まちづくり部

講 師：①松江城調査研究室長 飯塚康行

①松江市史松江城部会長 西尾克己

②一般社団法人 松江観光協会 事務局長 金山正樹

テーマ：①「松江城と城下町」

②「松江城を活用した観光事業」

日 時：9月30日（木）15：00～16：30

講 師：①安来市教育委員会文化財課長 水口晶郎

②安来市立歴史資料館館長 平原金造

テーマ：①「月山富田城の歴史と概要」（整備等も含め）

②「月山富田城の活用」（地元ボランティア、観光的側面も）

【フィールドワーク】

①12月18日（土） 松江歴史館 見学 松江城エリア散策

②12月19日（日） 月山富田城跡エリア散策 米子城跡及び下町エリア散策

○体験活動プログラム

【オンライン講座】

日 時：1月14日（金） 10：30～12：00

講 師：米子水鳥公園 神谷館長

テーマ：「中海での環境保全活動等（仮）」

日 時：1月26日（水） 10：30～12：00

講 師：島根県環境政策課 狩野企画幹

テーマ：「宍道湖・中海の歴史と水環境（仮）」

日 時：1月26日（水） 15：00～16：30

講 師：ホシザキグリーン財団 岩西係長

テーマ：「宍道湖での環境保全活動等（仮）」

【フィールドワーク】

12月11日（土）～12月12日（日）

宍道湖漁協に協力を頂き、宍道湖から得られる恵について体験（漁、資源保護活動、食等）。さらに、地域住民の宍道湖に対する想いに触れるため、漁師等との意見交換を行った。

また、松江城や白潟公園等の宍道湖周辺の地域資源の見学を行った。

(3) 島根大学・若者を共に育てるプロジェクト

学生が地域課題解決に向けた手法等を学ぶため、島根大学の前期授業「イノベーション創成基礎セミナーⅠ・Ⅱ」、後期授業「地域課題プロジェクト」に協力し、地域の課題を示しながら、フィールドワーク等を実施した。

○イノベーション創成セミナーⅠ・Ⅱ

日 時：9月28日（火）

訪問先：①松江市、②出雲市、③安来市

テーマ：①「美保関町のこれまでにない観光資源の活用について」

②「ジオパークのPRについて」

③「商店街のある”この一画”をどうしたら良いかについて」

日 時：11月19日（金）

訪問先：①米子市、②境港市

テーマ：①「テレワーク」を利用した職場づくりの提案について

①淀江地区の地域活性化について

②「水木しげるロードを訪れた観光客に直売センターや卸売市場まで足を延ばしてもらうことについて」

○地域課題プロジェクト

日 時：1月14日（金）

訪問先：米子市内

テーマ：「特産品である白ねぎのブランド化に向け、今後どのような手法でPRをしていくか」

2. 経費内訳

・婚活に係る経費	750,000円
・東京大学との圏域キャンパス事業に係る経費	200,000円
・島根大学・若者を共に育てるプロジェクトに係る経費	1,080,000円

3. 参考（補正前 経費内訳）

・婚活に係る経費	1,400,000円
・東京大学との圏域キャンパス事業に係る経費	450,000円
・島根大学・若者を共に育てるプロジェクトに係る経費	1,080,000円
計	2,930,000円